

中央大学特定課題研究費 ー 研究報告書 ー

所属	文 学 部	身分	准教授
氏名	大川 真		
NAME	OKAWA Makoto		

1. 研究課題

（和文）新井白石の資料群に関する基礎研究

（英文）Fundamental researches about the document group written by Arai Hakuseki

2. 研究期間

2 年間（2018～2019 年度）

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度）

（和文）「正徳の治」の牽引者である新井白石(1657～1725)は、日朝外交や長崎貿易の改革、また朝幕の融和にも努め、日本の近世中期を代表する政治家・思想家である。彼の著述は膨大な量があるが、従来の研究では岩波書店より 1975 年に刊行された『日本思想大系 新井白石』と 1900 年に国書刊行会により刊行された『新井白石全集』全 6 巻のみを分析対象とするものがほとんどであった。しかし白石の全集としては、近世後期に成立したと言われる正編 30 巻続編 22 巻にも及ぶ『白石叢書』があり、ここには『新井白石全集』未収録の著作も多い。日本近世思想史を研究する上で欠かせないキーパーソンである新井白石であるが、研究の基礎となる書誌的な作業は実は未着手なのである。本研究では、如上の欠陥を克服するべく、未刊行の『白石叢書』や各機関に所蔵されている新井白石の資料群を整理していく。本研究が遂行されることにより、今まで未着手であった白石の基礎資料が公表され、多くの研究者にとって有益な知見が提供できると考えられる。よって本研究課題「新井白石の資料群に関する基礎研究」を中央大学特定課題研究費にふさわしい課題として申請した。2年間の研究期間で資料群の整理は十分に行うことはできなかったが、周辺資料も縦横に活用することにより、白石の年号論を解明した論考や、白石の朝鮮観を解明した論考を著作や画全国学会誌に著すことができた。

（英文）

Arai Hakuseki (新井白石, 1657-1725) was a politician and thinker who represented Japan in middle of early modern times in Japan. I was able to elucidate the details of Hakuseki's thoughts about the name of an era theory and viewpoint for Korea, by using not only the complete works of Hakuseki but also the neighboring documents in this study abundantly.